



神埼市 議会だより



初優勝おめでとう!!

佐賀県中学校駅伝競争大会で優勝した
神埼中学校男子メンバー

11月定例会

2月定例会は2月26日開会予定です。

第56号

令和3年2月10日
2021年

スマホで議会の動きを見よう！

QRコードで議会録画配信ページへ簡単アクセス

今号の議会だよりから、一般質問の掲載ページに質問時の録画映像を視聴できるQRコードを、質問議員ごとに添付しています。スマートフォンやタブレット端末の「QRコード読み取りアプリ」で、映像をご覧になりたい議員のQRコードを読み取ると、議会中継録画映像を閲覧することができます。



スマホでQRコードを読み取り。



画面に「リンクを開く」と表示されるので、それをタッチ！



議員の一般質問の録画映像をまとめたページが表示されます。



気になる一般質問をタッチ！！



議員の以前の一般質問録画映像をまとめたページが表示されます。閲覧したい映像をタッチすると録画映像が再生されます。

※ QRコード読み取りアプリによって手順が異なる場合があります。

市議会インターネット中継のお知らせ スマートフォンでも生中継！



神崎市議会では、議場に直接傍聴に来ることができない方にも、本会議の様子をご覧いただけるよう、市議会のインターネット中継を行っております。これまでパソコン向けのために配信をしていましたが、令和2年11月定例会からスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。



『ライブ中継を見る』をタッチすると、ライブ中継画面が表示されます。
※本会議が開催されていないときは、タッチができないようになっています。

その他のページのご案内



神崎市議会のTOPページです。



今までに発行した市議会だよりを閲覧することができます。



本会議の会議録を掲載しています。

※スマートフォンによる視聴は、データ通信量が大きくなるため、Wi-Fi環境での視聴を推奨します。

新庁舎建設事業（旧本庁舎解体工事） 1億5,000万円

令和2年度一般会計（補正第6号）

3億5,844万円を追加し、
総額245億1,731万1千円となる

11月定例会

令和2年11月27日～12月17日までの21日間開催され、一般質問に16人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。

一般会計補正予算（第6号）では、3億5,844万円を追加し、総額245億1,731万1千円となりました。

■主な補正

主な事業	補正額(千円)	事業の内容
新庁舎建設事業 (旧本庁舎解体工事)	150,000	令和2年9月23日に新庁舎へ市政機能を移転した。今後、役目を終えた旧本庁舎を解体し、安心・安全のまちづくりに寄与することを目的とする。
千代田庁舎整備事業 (千代田交流センター 整備事業)	24,663	千代田庁舎の市政機能の一部を新庁舎に移転した。今後の利活用について「神崎市千代田庁舎利活用計画」を策定しており、この計画をもとに第一期整備工事を実施し、地域住民の福祉の向上に質することを目的とする。
さが園芸生産888億円 推進事業	61,038	革新的技術の導入による収量・品質の飛躍的な向上、及び省エネ・省力化技術の普及を進め、新規就農者等を育成することにより収益性の高い園芸農業を確立する。

ひとり親世帯臨時特別給付金事業（再支給分） 1,862万4千円

令和2年度一般会計（補正第7号）

1,862万4千円 を追加し、
総額245億3,593万5千円となる

11月定例会

一般会計補正予算（第7号）では、ひとり親世帯臨時特別給付金事業（再支給分）に1,862万4千円が追加され、総額245億3,593万5千円となりました。

■主な補正

主な事業	補正額(千円)	事業の内容
ひとり親世帯臨時特別給付金事業 (再支給分)	18,624	新型コロナウイルス感染症及び感染拡大防止対策の影響を受け、低所得者のひとり親世帯に特に大きな影響が生じているため、臨時に特别的な給付を行うことで支援する。



これが聞きたい！



新庁舎建設事業（旧本庁舎解体工事） 150,000千円

（事業の目的）

令和2年9月23日に新庁舎へ市政機能を移転した。今後、役目を終えた旧本庁舎を解体し、安全・安心のまちづくりに寄与することを目的とする。

Q

解体後の跡地利用については一度アンケートを取ってあるが再度、アンケートを取り今後どのように進めるのか。

A

前回のアンケート調査は全戸配布で調査を行い、駐車場や公園への利用との意見が多かった。旧本庁舎解体後には小中学生、区長、議員の皆さんを対象に、約1千人程度のアンケート調査をし、どのような形が一番いいか検討するための参考資料の一つとするように予定している。



生活困窮者自立支援事業（債務負担行為） 18,700千円

（事業の目的）

生活困窮者への自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給など生活困窮者の自立促進を目的とする。

Q

新型コロナウイルス感染症によって生活困窮者が増えていると思うが、来年度の対策、支援について検討されているか。

A

今回非常に影響を受けており、自立支援が昨年度比で70%増、新規相談受付が54%増となっている。一時的な生計維持のための資金融資の拡充は、国が延長するかどうかを注視するとともに、引き続き就労を含め福祉課で対応する。

さが園芸生産 888 億円推進事業 61,038 千円

（事業の目的）

革新的技術の導入による収量・品質の飛躍的な向上、及び省エネ・省力化技術の普及を進め、新規就農者等を育成することにより、園芸農業を確立する。

Q

新規就農者への支援として、JA とタイアップし、農業トレーニングを実施する計画はないか。

A

トレーニングファームの実施について、脊振町のピーマン部会からも若手を増やすためにもトレーニングファームのような事を導入していかないと就農に結びつかないと言われていた。このような取り組みも JA を中心に今後検討し、できるように努力する。

神埼駅南口駐輪場整備事業 16,104 千円

（事業の目的）

令和3年8月予定の神埼高校の移転に関し、駅を利用し徒歩で通学していた生徒の自転車利用増加に伴い、収容数の不足が見込まれるため、駐輪場の増設を行い駅利用者の利便性を図る。

Q

今回 JR の用地を買収しての整備計画だが、駅北の市有地を活用すれば予算も抑えられるが、検討はしたのか。

A

駅北口も検討し、南口については JR との検討も行った。元々、南口の方が利用者が多いので、今回は南口に整備するのが良いという事になった。



神埼駅南口駐輪場

各常任委員会のQ & A

総務常任委員会

《議案56号》(全員賛成) 神崎市ふるさと寄附金基金条例の一部改正について

※企業版ふるさと納税を神崎市まち・ひと・しごと創生推進事業に位置づけられた事業の財源に充てる。

総務企画部

Q 企業版ふるさと納税と普通のふるさと納税との違いは。

A 企業版は返礼品がなく、寄附金については神崎市が地方再生法に基づいて策定した事業に活用させていただく。

Q 寄附額の上限・下限の設定があるのか。

A 寄附額の上限は決まっていないが、下限は10万円となっている。

Q 寄附された企業のイメージアップを図るための広報は行うのか。

A お礼状の発送に併せて、企業からふるさと納税をいただいたというPRを行っていきたい。

文教厚生常任委員会

《議案60号》(全員賛成) 神崎市国民健康保険税条例の一部改正について

市民福祉部

Q 改正によって、7割・5割・2割の軽減判定を受ける対象者がどのくらいになるのか。また、市民への通知はどのように行うのか。

A 現制度では、例年58%から60%の方が対象となっていた。改正後の制度が適用されるのが令和3年度の国民健康保険税からなので、納付書を発送する時に、改正が行われたという周知を行っていく。

各常任委員会のQ & A

文教厚生常任委員会

《議案第63号》(全員賛成) 神崎市国民健康保険脊振診療所条例の一部改正について

市民福祉部

Q 入院施設が廃止されるが、診療所に急患が来て診療が夜間に及んだ場合や、診療中に災害が起きて道路が寸断された場合等、どのような対応をするのか。

A 急患で、どうしても診療所で対応できない場合、応急処置後、他の病院に救急車で搬送することになる。

災害の場合は、診療所に併設している脊振支所が避難所となっている。そこには、段ボールの簡易ベッドもあるので、そちらで治療という形になると思う。

《議案第64号》(全員賛成) 神崎市立せふり保育園の指定管理者の指定について

福祉事務所

Q 今後、園児数が減ってくると想定されるが、どのような検討をされるのか。

A 脊振町の自然の中でのびのびと保育をしている事や、少人数で子どもを見守るという魅力など、せふり保育園の良さをアピールしていきたい。

《議案第69号》(全員賛成) 財産の取得について

教育委員会

Q タブレットが児童生徒1人に1台貸与されるが、壊れた場合、保管、持ち帰りについて等、どのように取り扱うのか。

A 故意に壊した場合は、学校の備品と同様に保護者負担となる。保管方法については当面は学校で保管する。持ち帰りは、他自治体の状況を踏まえて、ルール作りをした上で家庭に持ち帰ってもらうことを考えている。

総務常任委員会の視察研修報告

委員長 松本 軍二

総務常任委員会は11月12日・13日の2日間行政視察研修を行いました。

12日は鹿児島県南九州市において「移住定住施策」及び「デマンドタクシー」をテーマに研修、移住定住施策では、知覧武家屋敷を利用した「お試しし住居事業」や企業情報及び求人情報を掘り起こす「南九州移住パートナー企業事業」を行われていました。

デマンドタクシーでは市内の公共交通空白地域や不便地域の拠点を結ぶ「拠点間バス」と地域内の病院・買い物・温泉施設等の日常生活を支援する生活交通バスの2系統を「ひまわりバス」として、運行されていますが利用者が減少し、今後の検討課題となっています。

人口減少は、多くの地域においても危惧されており地域に合った施策を考慮するべきと痛感しました。

次に熊本県人吉市の「被災地復興状況」をテーマに

研修。人吉市では、本年7月3日から4日で497ミリと記録的な豪雨により「球磨川」が氾濫し、市内全体で518haが浸水する「大規模な災害」が発生していました。

災害発生後、約4カ月を経過していましたが観光ホテルや商店は今だ、再開されておらず家屋も手付かずの状態でした。

近年の自然災害等に対し改めて防災意識の必要性について痛感した研修でした。



お試し住宅「平山邸」

文教厚生常任委員会の視察研修報告

委員長 野口 英樹

10月22日は、岡山県高梁市において「高梁市図書館」の現地視察を行いました。

高梁市図書館は、人口3万人未満の市では全国初となるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が運営する図書館であります。

図書館内はカフェや、学習室の整備と併せて閲覧スペースも充実しており、幅広い年代の方が多く利用されています。

図書館からの地域の活性化や、市民の多様なニーズに 대응することができており、神崎市の今後の図書館運営について学ぶことが多くありました。

10月23日は、岡山県の1市4町で運営を行っている「津山圏域クリーンセンター」の現地視察を行いました。

この施設は神崎市が加入する佐賀県東部環境施設組



津山圏域クリーンセンター

合の構成団体人口とほぼ同人口のごみ処理を行っています。

施設は1日128トンの処理能力をもつ熱回収施設、リサイクル施設及び3万立法メートルの埋立容量をもつ最終処分場に加え、リサイクルプラザ機能を備えた管理棟有する総合ごみ処理センターとして整備されています。

最新のごみ処理施設の運用を書類で読むだけでなく、実際に目にできたことは非常に良い経験となりました。

産業建設常任委員会の視察研修報告

委員長 山口 義文

産業建設常任委員会は、11月9日・10日で行政視察及び現地視察研修を実施し、9日は、滋賀県庁において「流域治水政策」をテーマに有害に強い地域づくりについて研修しました。滋賀県では、平成26年3月に「流域治水の推進に関する条例」が制定され、4つの対策を総合的に実施するというものであります。

また、身近な水路の氾濫を考慮された内水路の浸水想定マップとして「地先の安全度マップ」を作成し、地域とともに各地域の避難計画を事前に検討しているとのことです。

神崎市においても、身近な災害リスクを事前に知り、普段から避難計画を考へておくことが非常に重要な事であると感じました。10日は、彦根市「フクハラファーム」にて実証をされている、「資源循環型もみ殻ガス化発電システム」

の視察を行いました。稲作農業でもみ摺り時に発生するもみ殻の処分が課題となつていますが、「フクハラファーム」では、毎年およそ200トン発生するもみ殻をもみ殻ガス化発電システムを導入により、処理問題を解決でき、発電した電力を自家消費することで省エネ効果もあるとのことです。

神崎市においても、「もみ殻」の処理問題は喫緊の課題であり、「資源循環型もみ殻ガス化発電システム」は様々な可能性のあるシステムであると感じました。



もみ殻ガス化発電システム

議会広報特別委員会の視察研修報告

委員長 永沼 彰

11月4日から5日に、山口県山口市及び山口県周南市へ「議会だより」の編集・発行をテーマに研修しました。山口市議会では平成30年に市議会改選後、新体制となった広報公聴委員会において8回に亘る会議をかさね、リニューアルに取り組み、内容的には写真、イラスト、余白を大きめに残し読みやすく調整されておりました。

編集作業の留意点としては表紙の写真は委員会の担当班でインパクトのあるものを決定し、タイトルは全委員で決定されておりました。また毎号16ページと固定する事で編集内容の焦点化・効率化を図り、わかり易さ、読みやすさ向上のため文字フォントはユニバーサルデザインを使用、写真の撮影方法も被写体により近づいて撮影した方が気持ちのこもった写真になる等



周南市での視察研修の様子

のアドバイスもいただきました。11月5日には周南市で研修を行い、QRコードを掲載されスマートフォンで議会の内容が確認できる、また議会だよりの音声や点字サービスも行っており、情報のバリアフリー化が進められておりました。今回の研修成果を活かし、市民の皆様を楽しみに読んでいただける議会だよりを目指して、編集活動に取り組みます。

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 箕原 忍

議会改革検討特別委員会の会期中の活動について報告します。去る12月14日に委員会を開催し、議会ICT化(タブレット導入)の検討方法について協議しました。現在、スマートフォンやタブレット端末に代表されるICT技術の急速な進化は、今や一般家庭にも広く普及し、私たちの様々な生活の場面で活用されています。

行政分野においても、マイナンバーの導入とともに行政サービスのオンライン化や、ホームページ・SNS等の様々な手段による行政情報の取得など、住民の利便性の向上に活用されています。情報化社会の著しい進歩に伴い、議会改革と共に議会のICT化が全国的に推進されています。神崎市議会においても、ICT化による議会運営の効率化、積極的な議会広報広聴

活動、政策提言等を展開すべきであると考えています。まずは議会として『議会ICT化』について、メリット・デメリットを含め、フラットな立場で調査・研究する必要があると考え、その検討方法については、委員から様々な意見があり、継続して協議することとなりました。市民の付託に応えられる議会改革を行います。



議会改革検討特別委員会の会議の様子

神崎市まちづくり特別委員会の活動報告

委員長 田原 和幸

12月14日に執行部出席のもと委員会を開催し、脊振町複合施設建設事業及び千代田庁舎整備事業について執行部より説明を受けました。

委員からは、脊振診療所の移転に伴う休診時の対応に関すること、千代田庁舎を公民館及び図書館として活用することとなった場合の警備員室の配置に関することなど、様々と質疑が交わされました。

その後、委員全員で、12月25日に竣工予定の脊振診療所の現地視察を行いました。

また、本委員会は平成30年6月に「第2次神崎市総合計画」に基づき進められる「まちづくり事業」、特に合併特例債充当事業について調査・研究するために設置された委員会であり、主な事業であった新庁舎の



完成が待たれる新診療所

建設や他の複合施設の建設について、一定の目的が立った事から今後の委員会の方向性について論議しました。

委員からは、旧庁舎解体後の跡地利用について等、まだまだ検討すべき事項は多く残されているとの事から、本委員会を継続し、まちづくりのテーマを定めながら、今後も調査研究していくこととしました。

神崎市議会だより 第56号 (令和2年11月定例会)

農福連携の推進と取り組みについて

答 農福連携の姿を様々な視点から支援を考える



白石 昌利 議員

携の姿を、様々な視点から支援していききたいと考えている。

交通安全施設の整備について

議員 詫西地区の横断歩道は、標示が傷んで消えかかり、あるかないか分からない状態が続いていた。この横断歩道の修繕は、長期にわたって要望がされていたが、なかなか修繕されなかった。現

在、修繕が終了しているがその経過を伺う。

中島総務企画部長

詫西地区の横断歩道、ダイヤマークについては、地元区長から市へ要望があり、現地確認を行い、緊急性が高いと判断して、令和2年7月に神埼警察署へ要望書を提出した。今年度中に実施をする回答があったので、その旨を地元区長へ伝えていた。



企業版ふるさと納税へのワンチームでの取り組みは

答 関係各課でプロジェクトチームを設置した



田原 和幸 議員

ふるさと納税の問題

受託業者からの謝罪と説明を受け、対象者にお詫びの品を添えた謝罪文を送付した。個人情報管理体制の強化に取り組み、再発防止に努めている。現在のところ二次被害の報告はなく、寄附額も昨年同期より3億円程増加している。

市内観光地への集客方法について

議員 神埼駅北の遊学館跡の施設利用について。

野中商工観光課長 建物は市観光協会、土地は市の所有であり、観光案内機能を有し賑わいの創出を頂けるような店舗のためにも協議が必要である。



松永農林水産担当理事

近年、全国各地において、様々な形での取り組みがなされており、農福連携は確実に広がりを見せている。これからの農福連

議員 社会的に弱い立場の人々が、最大限活躍できるような環境整備の一環として、農福連携が推進されている。農林水産省、厚生労働省、地方自治体、民間企業、農家等が垣根を越えて一体となり、農業と福祉における課題を一举に解決すべく取り組みがスタートしていると言われるが、農福連携における神埼市の課題と取り組み状況を伺う。



車運転者の安全認識を高める『横断歩道と横断旗』

議員 ふるさと納税におけるメールアドレスの漏洩に対する寄附者への影響は。中島総務企画部長 寄附者のメールアドレスマガジン会員に、他会員様のメールアドレスが分かる状態で誤送信をした事案だが、



ふるさと納税寄附で修繕した伊東玄朴旧宅



再開店が待たれる駅北遊学館

その他の質問

・流域治水の考え方について (仮称)「流域治水協議会」に対する考え方について

SDGs(持続可能な開発目標)の本市での取り組みはあるのか

答 一部において既に取り組んでいる



木原 憲治 議員

画、食育推進基本計画、男女共同参画基本計画等々において取り組んでいるものに理念等類似するものと考えている。

議員 給特法(公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法)が改正されたと聞くがどのように改正され、今後の学校現場での働き方改革をどのように推進していくのか。

牛島教育部長 教職員について、1年単位の変形労働時間制を条例により実施できるようにすることと、教職の業務量の適切な管理等に関する指針を策定及び公表することが改正され、教職員の1か月の超過勤務を45時間以内、1年間では360時間以内等超過勤務時間等が定められた。

中島総務企画部長 このSDGsでは、貧困をなくそう、飢餓をゼロに、全ての人に健康と福祉を、など世界が理想の姿に近づくための17の目標が設定されており、本市において具体的な行動指針は策定していないが神埼市総合計画、高齢者保健福祉計画、地域防災計



国、県、自治体は勿論のこと企業、個人においても取り組んでもらいたい17の目標

コロナによる収入減で、自営業者の国保税を減免を

答 収入減での国保税減免相談は電話でできる



福田 清道 議員

議員 新型コロナウイルス感染症による事業困難者、生活困難者への市独自の支援策について。

現在感染者はますます増加しており、その負の影響は非正規労働者、派遣社員、農業者、地域中小業者、大手事業者を含めあらゆる業種に及んでいる。このような状況にある中、神崎市として、国・県の支援策に加えて独自の支援策を早急に設けるべきである。特に国保世帯はコロナの影響による売り上げ減で、保険税の支払いは本当にきつい。ぜひ減免の対応をすべきである。

八谷福祉事務所長 新型コロナウイルス感染症に特化した施策については、市活性化推進クーポン券のほか、市内事業者への事業継続のための給付金や補助金の助成を行っている。また市として、市民全体を対象とした支援はもちろんのこと、困難に直面されておられる世帯への個別的生活支援に努め、コロナ禍の中、今後とも長期的視点で支援を行っていききたい。



丁寧な対応に心がける市民課窓口

田中税務課長

コロナ感染症により主たる生計者の死亡または重病を負った世帯、もしくは主たる生計者の事業収入が30%以上の減収が見込まれる場合は減免の対象者になる。納税義務者の方の気持ちに十分配慮し、わかりやすく丁寧な対応を引き続き心がけて取り組んでいく。



新庁舎 2階フロアの状況

新庁舎内の案内看板等、市民からよく分からないとの意見が出ているが、改善を考えているのか。

宮地財務等担当理事 来庁された市民の方から担当課の場所が分かりにく



野口 英樹 議員

「3階会議室の照明が暗い」については、照度基準は満たしているものの、他の会議室と比較すると、暗く感じたので、照明器具を追加することとしていた。

次に「ひと目見て会議室が分からない、使用中

かわからない」とについては、会議を行う際には、会議室入り口に会議名等の表示を行い、使用中であるか否か分かるようにしている。外部の方が出席される会議の際には、会議室の周知が図られている。

議員 和の杜進入道路(高速ボックス付近)は、見通しが悪く事故の危険性はないのか。

中島総務企画部長 安全性の確保は、公安委員会などと協議を行い、徐行指示や誘導看板、停止線の設置などが行われている。なお、葬祭業者へも霊柩車の進路、安全対策などの周知が図られている。



和の杜 ご利用者は、左右確認を!!

約52億円の庁舎(用地費等含む)、改善箇所が多い

答 改善が必要な箇所は、検討する



近年の気候状況の変動とダム規模の考え方

答 水災害の激甚化を踏まえ、国・県に対し要請



永沼 彰 議員

議員 今年の7月災害、昨年の佐賀豪雨災害、平成30年西日本豪雨等広範囲に大変な被害をもたらしている地球温暖化に伴う気候変化が予想される中、今後の気候変動を踏まえた整備計画が必要と

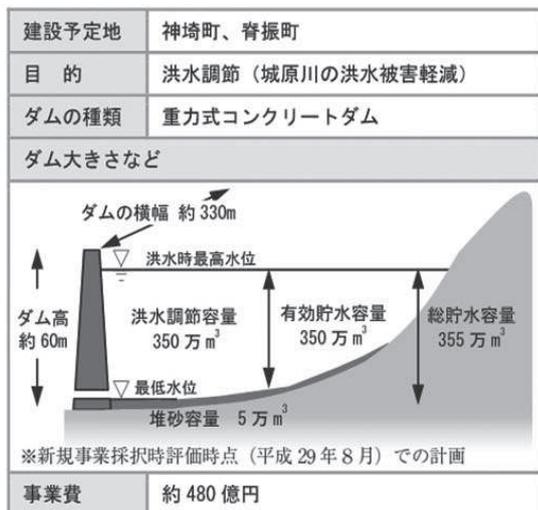
思うが伺う。

前山ダム対策担当理事 国では気候変動を踏まえた水災害分野で、ハード対策を含めた適応策を検討する有識者で構成された「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会」が設置され、課題・論点の議論を基に治水計画を見直す手法について検討されている。その提言では目標流量を超過する

ような河川から見直しを行うとされ、市は今後予想される地球温暖化による気候変動に備え、激甚化した豪雨にも耐えられるようなダム建設を要望しているが、国は現計画規模でのダム整備の加速化を目指すとしている。

議員 城原川中・下流域の取水施設の実態と流量調査、老朽化の進んでいる施設の改修と更新について伺う。

實松農政水産課長 昨年度水利調整協議会で取水施設の在り方も検討を行い現状の課題・樋管の改善方法の説明をさせていただく中で合理的で効率的な取水施設として、堰及び樋管の合口化についても概要説明をさせていただいた。今後地区の意見を集約し、国や県関係機関と連携し計画策定に努める。



大雨時のみダム湖内に一時的に洪水を貯留します

介護保険の現状と課題について

答 NONIS問題を目前に「広域運営の施策と運動」を前に進める



佐藤 知美 議員

議員 3月7日付の日経新聞の報道で介護認定を

引き下げた自治体として神崎市が全国で2番目となつている。東京国立市では独自の裁量として末期がん患者は要介護5に認定するという判断をしているが、佐賀中部広域連合として独自の裁量を行っているか。

野中高齢障がい課長 末期がん患者に対し、独自の介護認定の運用は、中部広域連合においては行っていない。

議員 私は、末期がん患者に対して中部広域連合として独自の裁量も必要と思うが、副連合長である市長は連合に対し独自の裁量の提案をしてはどうか。

市長 こうした手だてが必要だと認識される。できることは一般に市民にも知らしめていけないかと提案したい。

議員 来年4月からは第8期の制度運用になるが、令和2年度の特別養護老人ホームの市における待機者数は。

高年齢障がい課長 神崎市における待機者は64人で昨年から減少傾向となっている。

議員 特養の入所申し込みから実際入所できる期間はどのようになっているか。

高年齢障がい課長 待機に係る平均所要時間は、要介護4の方が672日、要介護5の方は847日。

議員 介護保険制度は創設当時から「保険あつて介護なし」と言われてきたが、共産党は国会でも地方議会でも介護保険の問題点を指摘しその改善を求めるが第8期の保険料は下がるのか、上がるのか。

八谷福祉事務所長 保険料については第7期から大きく変動することはないと予測されている。

令和3年度の予算編成の基本的な考え、方針について

答 戦略的な財政運営に取り組む



原口ひさよ 議員

財政について

議員 収束が見えないコロナウイルス感染症の影響により、多くの自治体で税収が落ち込み財政の悪化が見込まれる。令和3年度の予算編成に当たつての基本的な考え、方針について伺う。

宮地財務等担当理事 令和3年度神崎市予算平成方針の下、これまでの様々な取り組みを参考にしながら、選択と集中による戦略的な財政運営に取り組む。基本的な考えとして、一、事業の重点化、事業の選択と集中。二、国・県等の動向把握と制度変更への的確な対応。三、事務事業の再構築による効率化。四、適切な市債の活用。を柱とし、将来の財政負担にも配慮しながら予算編成を行うこととする。



駐車場として利用されている下神代住宅跡地の雨天時の状況

市有地の整備について

議員 下神代住宅跡地については、現在、千代田東部小学校や、ちとせ保育園等の駐車場として活用されているが、整備が不十分で雨天時には、使いづらく危険である。安全に利用できるように整備をすべきと考えらるが。

鶴建設課長 当該市有地の改善については、使用の目的に沿った整備をしていく必要がある。今後の検討として、整備範囲や整備の方法など調査・研究をしていく。

その他の質問
・接遇について

千代田西部地区通学路県道工事と今後の進捗状況

答 事業の早期完了に向け県と協力していく



野副 芳昭 議員

議員 仲田町交差点から西側は工事着工中だが東側は未着工である。また、東原の町交差点付近は工事中だが、県道15号八女線の西側通学路両方の歩道整備計画は。

障がい児や疾病児の入園体制の充実

議員 新生児医療の発達に伴い、医療的ケアを必要とする子供が増えている。保護者には、地元の保育園や学校の希望があ

嶋産業建設部長 仲田町交差点、東原の町交差点から八女線についても車道の拡幅と両側3・5mの歩道計画があり、県は早期道路整備完成を図る。

る。受入れ条件や対応マニュアルはあるのか。

八谷福祉事務所長 知的障害、発達障害、身体障害などの園児の受入れを行っている。主治医の意見や障害の状況と家族が望むことや緊急時の家族の体制を聴くこととしている。対応マニュアルは国のガイドラインを基に対応する。

新米の価格の状況と農業への強化対策

議員 新米の相対取引卸値は前年度より下がったと報道された。米の作況指数や価格下落の要因と農家への影響は。また、農機具購入支援はあるのか。

松永農林水産担当理事

昨年引き続き不良となる見通し。需要供給の不均衡、食の多様化、新型コロナウイルスの影響で外食産業での需要が減少した。県と国へ農業機械導入支援の要望事項提出に取り組む。

神崎市国土強靱化計画策定期間は第二次総合計画と同じ期間なのか

答 令和4年まで計画が5年度以降も継続推進していく



西原 正剛 議員

議員 近々の甚大な災害に対し国は、閣僚懇談会において国土強靱化について今後5か年・15兆円計画を打ち出したが神崎市の計画と差異は無いのか。

中島総務企画部長 神崎市の計画においても、国に準じて随時見直しを図りながら計画に沿った施策を展開していく。

ているのか。

市長 甚大な災害、大雨が発生した場合の観点だけでなく、今コロナ禍という新たなウイルス災害を考えたとき三密を避けるため足りなくなる。もし、車ごと避難できたら車に一晚過ごしてもらえると。その為にも道路を絶対作らなければ、強靱化計画に入れさせてもらった。

議員 近年神崎市においても災害発生時において

は、激甚災害に指定されているが、40万円未満の災害、特に脊振地区の農地災害は対象でないのか。

松永農林水産担当理事 神崎市の小災害復旧事業補助金交付要綱に基づき、復旧費の85%を市が負担し農家負担の軽減に寄与している。

その他の質問

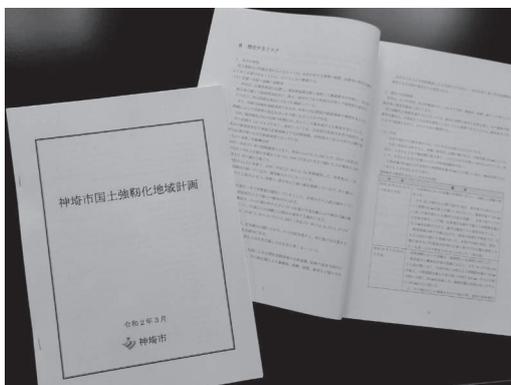
・有害鳥獣(猪・他)・害虫(ウンカ) 災害対策について



仲田町交差点付近は工事着工だが東側は未着工



東原の町交差点付近は工事着工だが八女線への歩道は未着工



令和2年3月に策定された神崎市国土強靱化地域計画

最低制限価格と入札価格が1円単位まで同じはあり得ない

答 積算ソフトを使えばあり得ない事は無い



宮島 清 議員

入札ローカルマスタリーについて

議員 入札における最低制限価格や予定価格を事後公表とすることの制度の導入の経緯や問題点について質問する。

宮地財務等担当理事 設計金額の積算根拠の透明性・公平性の為、入札の参考資料として公表している。問題点としてその作成については慎重な判断が必要と考えている。

議員 今回、市の千万単位の入札において、参加業者の一社の入札額が消費税を含まない市の入札書比較最低制限価格にぴったりの入札がある。

この様な事は普通考えられない事であると思う。事後公表である最低制限価格は入札者にとっては知る由もない金額であり、円単位まで合致するこの入札について考えられるのは、最低制限価格を事前に漏らしたか、あるいは聞き出していたか、はたまた宝くじと同じで普通ではあり得ないと思う。また、市がローカルマスタリーで示したもので、すべての業者が事前の同等品検査も無く同じメーカーと同じ品番で実施され結果を見れば、相応な価格差があるが本当にこれでいいのか。適正な入札、適正な業

者で入札をしたと言っ事だが、後は、周りがどう判断するかだと思つ。副市長 適正に入札された結果だと思つている。

その他の質問
・ふるさと納税の情報漏れについて
・一丁目南線の工事遅延について

入札結果表

工事番号	R2防工第1号	予定価格(税込)	23,342,000円
		最低制限価格(税込)①+②	21,007,000円
工事名	令和2年度 神崎市防災行政無線・MCA陸上移動局整備工事	入札書比較価格	21,220,000円
入札月日	令和2年8月20日(木)	入札書比較最低制限価格	19,097,273円
入札決定額①	19,097,273円	消費税及び地方消費税額②	1,909,727円
	入札業者名	入札1回目	
	A	19,350,000円	
	B	27,300,000円	
	C	19,097,273円	落札
	D	19,656,000円	
	E	21,100,000円	
	F	11,745,000円	失格
	入札参加申請業者名	6社	

神崎市における不納欠損について

答 安易な債権放棄はせず、厳正公正な滞納整理をする



吉田 守 議員

議員 税は貴重な自主財源で、法的に納税は義務である。徴収について法的根拠及びその取り組みを伺う。

宮地財務等担当理事 令和元年度決算での市税全体の不納欠損額は、659万8816円である。不納欠損については、滞納者が生活困窮となってしまう場合や滞納整理の過程で、債務を引き継ぐ相続人がいない場合、住民票を異動せずの転居等で居所が不明となる場合で、地方税法第15条の7の規定により、滞納処分の執行停止となったものである。

議員 滞納した場合の整理の流れはどのようになっているのか。田中税務課長 滞納になれば、督促や催告によって納付を促すことになるが、納付期限の翌日から延滞金が増算されるようになる。納期限を過ぎた場合、20日以内に督促状が送付され、それでも納付がない場合、再度、書面での催告がなされるほか、滞納者宅への訪問等により自主納付を促している。

議員 不納欠損が増加すると市の歳入が減るが、それに対して市としてはどのような対応を考えているのか。税務課長 滞納することは、市

民へのサービス低下を招くばかりか、期限内に納付される市民との公平性が保たれないので、滞納者へは納付催告を行う。それでも納税に至らない場合は財産調査を行い、差押等の滞納処分を行う場合もある。

年度別不納欠損額

種類	年 度				
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
市税	市民税	1,784,328	1,647,502	840,728	1,830,349
	固定資産税	6,497,310	1,579,300	3,838,500	4,398,059
	軽自動車税	239,100	269,537	158,800	370,408
	合計	8,520,738	3,496,339	4,838,028	6,598,816
国民健康保険税	14,510,277	9,448,781	8,347,000	7,019,897	

* 不納欠損…歳入徴収額を確定したものの、徴収が行えず執行停止となり、時効等によりその徴収権が消滅したものの。

高取山公園の来園者の要望を満たせるバリアフリー化の考えは

答 バリアフリー化についても考えていきたい



服巻 玉美 議員

議員 ベビーカーを利用する家族連れや、膝が痛む高齢者が「巡回バス乗り場まで行くのが大変だ」と言われた。来園者の要望が満たせるスロープなどバリアフリー化の考えについてどのように考えているのか。

嶋産業建設部長 高取山公園は山間地に立地した自然豊かな公園として、地形の高低差を活用した特色ある公園であり、高齢者やベビーカーでの利用者の利便性を考える

と、巡回バス乗り場までのバリアフリー対策についても考えていきたいと思う。

議員 平成28年度から脊

振町の活性化を図るため、高取山公園を活動拠点とした地域おこし協力隊の募集が行われ、今年度の募集において、隊員の任用が決定したと聞いたが。

産業建設部長 隊員の任用時期は令和3年1月からとなり、高取山公園を活動拠点として、活動を開始していただく予定となっている。

議員 地域おこし協力隊が行う業務内容はどのようなものか。

野中商工観光課長 協力を高取山公園コーディネーターとして、直売所の来客者向けのイベントや、芝生広場を活用したイベントの誘致・企画をすることで、常連客の満足度向上と新たな客層の獲得を目指したいと考えている。



高取山公園巡回バス乗り場までの階段

伊東玄朴記念館の顕彰に係る取り組みの進捗状況について

答 近代西洋医学の先駆者であり、顕彰活動は今後も取り組む



蓑原 忍 議員

議員 伊東玄朴記念館の寄附額は現在千数百万円と伺っているが、正確にどれぐらいか確認をする。

江頭政策推進室長 寄附については、平成29年度から取り組み、令和2年11月末現在で件数で278件、寄附額として1759万5422円を頂いている。

議員 神崎市ふるさと寄附基金条例の一部改正が可決され、全議員の賛成の下、事業の財源活用ができればと思っております、我が国を代表する偉人として長く神崎の地で顕彰していかねばならない。記念館整備事業

をできるだけ早く市長在任期間中に進めて頂きたい。

市長 記念館については、その歴史と同時に広い立場で物を見て進めさせてもらう。議員各位の御理解、御支援を賜りたい。また地域の住民の方の協力をいただきながら、市民協働のまちづくり、そういった位置づけにし記念館を造れたらと希望しているところである。

道路の維持管理について

議員 川寄橋から上流右岸側の亀裂、陥没等の現状をどう考えるか。

鶴建設課長 県と協議し計画的に部分的な、舗装補修を行う。

議員 三本松川の堤防道路補修は。
嶋産業建設部長 予算を確保し、本格的な舗装打ち替えはその後考える。



堤防の現状 (城原川・三本松川)

川寄、三谷、姉川西分等にスクールバスは

答 原則徒歩、子供に応じても考えたい



宮地 明 議員

議員 憲法26条の教育を受ける権利で「すべての国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」とある。その能力に応じてであるから、歩く能力の弱い人には、公が援助して、その能力を補充して、学校に通えるようにするという条文の読み方もできる。

負担になることは結構ある。脊振のことを考えると、基準は分からないと思う。割合とか一定の基準で切る均分的正義ではなく、公の立場で、その子の状況に合った対応をする配分的正義と私が考える立場、子供達の状況に合った対応を研究課題として持っていたらいい。

教育長 児童が徒歩で通学できる状況であれば、みんなと歩くことも必要と思う。ただ、一人ひとり子供は違うので、その状況に応じて、今後も考えていきたい。

その他の質問
・新型コロナウイルス感染症対策と障がい者への影響について



脊振スクールバス

地域防災計画における原子力防災について

答 今後、様々な問題を共有しなければならぬ



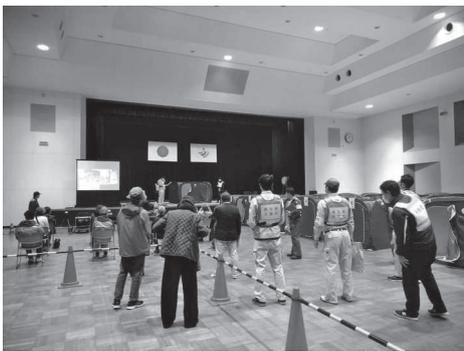
山本 千佳 議員

議員 令和2年11月7日に佐賀県原子力防災訓練が実施され、市では初めて広域的な受入れの避難訓練を行った。放射線防護と感染防止対策の両立など、避難計画の在り方について伺う。

上での計画はできるが、実際はその場にならないとわからない。様々な問題を日本の社会として、皆で共有しなければならぬ。

議員 「佐賀県内住民の安全及び安心に係る原子力防災高度化に関する協定書」について伺う。

中島総務企画部長 東日本大震災以降、原子力防災の不安が高まったことから、危機管理の観点から、従前に増して不断の努力を重ねることが



原子力防災訓練の様子

フッ素化物洗口について

重要であることを基本認識として挙げている。

議員 虫歯予防のため、学校や保育園のフッ素化物洗口で使用されているフッ化ナトリウムが、毒劇物法に基づき劇物に指定された。厳しい管理や運営方法が求められている。管理体制及び、保護者への説明はどうしているのか。

牛島教育部長 鍵のかかる保管庫で必ず施錠し、鍵の管理を徹底するなど、管理・保管体制の取扱いや関係法令上の使用において問題はない。保護者への説明などは個別に対応する。

その他の質問
・地域おこし協力隊の支援体制について

県政功労者知事表彰

去る、11月9日に佐賀城本丸歴史館において、市町村議会議員として20年以上地方自治の育成発展に貢献した功労者として、片江 護 議員、佐藤 知美 議員、福田 清道 議員、宮島 清 議員、永沼 彰 議員が表彰されました。



片江 護 議員
議員在職 32 年



佐藤 知美 議員
議員在職 29 年



福田 清道 議員
議員在職 28 年



宮島 清 議員
議員在職 25 年



永沼 彰 議員
議員在職 20 年

以前の一般質問も閲覧できます



片江 護 議員



松本 軍二 議員



山口 義文 議員



中野 均 議員



《議会の動き》（令和2年10月8日～12月31日）

10月8日	令和2年8月第5回神崎市議会定例会閉会日	17日	総務常任委員会
16日	第229回佐賀県市議会議長会（正副議長会）（小城市） 議会広報編集特別委員会	18日	大分県別府市議会より行政視察
19日	総務常任委員会	19日	文教厚生常任委員会
22日～23日	文教厚生常任委員会行政視察研修（岡山県内）	24日	議会運営委員会
27日	議会広報編集特別委員会	11月27日～12月17日	令和2年11月第6回神崎市議会定例会
30日	正副委員長会議	27日	全員協議会
11月4日	議会広報編集特別委員会	12月2日	議会広報編集特別委員会
4日～5日	議会広報編集特別委員会行政視察研修（山口県内）	9日	令和2年度予算特別委員会 正副委員長会議
9日～10日	産業建設常任委員会行政視察研修（滋賀県内）	10日	総務常任委員会
10日	議会広報編集特別委員会	11日	文教厚生常任委員会
12日～13日	総務常任委員会行政視察研修（鹿児島県内）	14日	神崎市まちづくり特別委員会 議会改革検討特別委員会
16日	産業建設常任委員会	15日	議会運営委員会
		17日	全員協議会

議会広報編集特別委員会
委員長 永沼 彰 委員 田原 和幸
副委員長 山本 千佳 委員 原口ひさよ
委員 佐藤 知美 委員 白石 昌利



この冬一番の寒気により、1月8、9日は5年ぶりの大雪となり脊振では40～50センチの積雪で、雪下ろしで大変だったとも聞いた。我が家でも20センチ以上積り一面銀世界。久しぶりの大雪で運転も含め大人は大変な時間であったが、子ども達は大喜び。我が家でも娘、孫は雪の降りしきる中、玄関前に可愛い雪だるまと、かまくらが完成した。車の下にはつらが出来ていた。孫娘は「これ何？」初めて見るものに興味深々。地球温暖化の中でも自然は頑張っている。日本のそして神崎の四季折々の風情を子ども達に残していかなくてはと思った。
(佐藤知美)

編集後記